



2021年入庁
健康福祉部 厚生保護課
生活保護に関する業務担当

人からの“ありがとう” がやりがいに

Q 1. 志望動機は？

市役所職員として働いていた母の姿を見て、市役所職員を目指しました。残業が続いて疲れ切っていたり、気象災害があった時には夜間でも職場に行ったりと大変そうだなと思うことがあっても、市民の皆さんの生活を良くしたいと思い働いていた母の姿を誇りに思い、自分自身も市民の皆様近くで生活を支える仕事がしたいと考え市役所職員を目指しました。

就職活動を行う中で出会った宇陀市役所の先輩方は優しく頼りになる方で、先輩方と一緒に仕事がしたいと思ったので宇陀市へ応募しました。

Q 2. 担当業務は？

生活保護を受給されている方の生活を支える業務に従事しています。生活保護とは、高齢やケガ・病気等が原因で収入が減り、日本国憲法第25条で定義される「健康で文化的な最低限度の生活」を維持できなくなった方の生活を保証するとともに、自立した生活に復帰できるように援助することを目的とした制度です。私はケースワーカーとして生活保護を受給されている方の生活状況を把握し、適切な保護費をお渡しすることを主な仕事としています。

また、困窮した生活を送っている方からの相談を受けることがあります。相談者一人一人の状況を詳細に聴き取り、生活保護制度を活用せずとも生活の立て直しが可能な方には他制度の案内をすることもあります。

Q 3. やりがいについて

生活保護の受給を余儀なくされる方にとって、保護費は生命線とも言える程に重要なものです。保護費を支給する際には「ありがとう」と声を掛けていただける機会が多く、人を助けられるような仕事がしたいと考えていた私にとって、やりがいに溢れた仕事だと感じています。

生活保護の業務に従事していると、他の様々な制度を活用する機会が多々あります。制度については、先輩方に優しく丁寧に教えてもらうことができ、とても勉強になります。

Q 4. 市職員のイメージは？

入庁前からのイメージ通り、困った人がいたらすぐに声を掛けられる方が多いと思いました。市民の皆様にはもちろん、職員同士でも助け合うことができるあたたかい職場だと常々感じています。皆さんが入庁された際には、私達先輩職員にも気軽に相談していただければ嬉しいです。

Q 5. 受験者に向けて

面接の練習として、家族や友達などの親しい人以外と積極的に話す機会をもつように意識し、雰囲気慣れておくとしょとなく気持ち楽になるかなと思います。

みなさんへひとこと！

就職活動期間には悩むこと、自信を失う事もあるかもしれませんが、悔いの残らない結果を目指して頑張ってください。一人で抱え込まず、両親や兄弟、友達などに話を聞いてもらい助言を受けることも重要です。